

記録：第 335 回海外邦人安全対策連絡協議会（2021 年 6 月 8 日開催）

6 月 8 日、「第 335 回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。今回も TV 会議を利用しての開催となった。主な議題は、新型コロナウイルス感染状況及び邦人のワクチン接種に関する情報。

1. 冒頭

（大使館総括公使）

領事メールでも案内したが、在留邦人向けワクチン接種について、インドネシア商工会議所（KADIN）主導のゴトンロヨン・ワクチン接種プログラムが5月末から始まっており、外国人も同プログラムの対象になるとされている。また、中央政府及び各自治体を実施しているワクチン・プログラムにおいても、地域によっては外国人が接種を受けたという情報を受けている。

今年の夏以降、海外の在留邦人向けに日本に一時帰国した際に空港又はその周辺でワクチン接種を受けることができるよう体制を準備しているところ。現時点では、海外で既にワクチン接種を受けた方は対象外となる見込み。

2. 治安情報、邦人に関わる最近の事件・事故報告

（大使館警備班書記官）

先月、パレスチナ情勢に抗議する市民がジャカルタの国連事務所前でデモを行ったが、幸い邦人の被害発生はなかった。

犯罪被害は5月に1件報告があった。休日の朝6時頃セノパティ通りを歩行中に携帯電話を手にしていた男性が、後方から近付いてきたバイクに携帯電話をひったくられた。路上を歩きながらの携帯電話の使用はなるべく避ける、車道側から離れて歩行する等、日頃から注意をお願いしたい。

3. 新型コロナウイルスをめぐる状況等

（大使館医務官）

新型コロナウイルスの感染状況の勢いは収まったかに見えたが、レバラン明け以降また増えようとしている。街中での人の密度も高く、感染爆発前夜という状況と言えるかもしれない。感染者数がピークに達してから約2週間後に重症者が増える傾向にあり、現時点で在留邦人がよく使用する病院には空室はあるが、油断はできない。人と人との距離の確保、不要な接触はしない、体調不良時の自己隔離等が感染防止策として肝要であることを再認識いただきたい。また、ワクチンを接種すれば感染しないという訳ではなく、接種後も感染予防に努めてほしい。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

グループ会社のうち2社の全従業員が6月中にワクチン接種を受ける予定。日本人は対象外とのこと。感染者はレバラン明けで増えている。週ベースで15名程度。日本人感染者はいない。6月に4名の赴任者が日本から戻ってくる。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムは申し込んでいるが順番が回ってこない。駐在員は約110名の定常状態にある。帯同家族6月から7月にかけて30~40名程度に増える見通し。感染者は時おり発生しているが、特段増えてはいない。

(企業からの報告)

3月末に民間自主接種プログラムに日本人を含めて申請したがその後の案内は来ていない。先月の感染者は1名。新規赴任は異動完了済。今後の日本人学校通常登校再開を受けて家族がインドネシアに渡航する見通し。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムに申請済であるがその後の具体的な接種スケジュールについて追加情報なし。現法において感染者はインドネシア人スタッフ1名、邦人スタッフはなし。帯同家族は希望者を渡航可としており希望者は全員インドネシアに到着済み。新規赴任者は5月から6月で数名が渡航を予定している。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムに申し込みを行っていたグループ会社のうち西ジャワ州の1社が先行して接種を受けることとなり準備中。新型コロナ感染者は5月に入って増加の兆しあり。帯同家族のインドネシア渡航は6月に2家族、8月に1家族を予定。

(企業からの報告)

新規感染者はいない。駐在員は5月末1名入国。就労ビザへの切り替え中。帯同家族は5月に1家族がインドネシアに戻った。8月にもう1家族が戻ってくる予定。

(企業からの報告)

インドネシアスタッフは一部4名を除き政府の接種プログラムを完了したが、日本人は対象外で接種予定は立っていない。新型コロナ感染者はなし。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムについては、3月に申し込みを行っているがその後連絡が来ていない。コロナ感染に関してはレバラン明けに数名が感染し自己隔離中。邦人への感染はまだない。家族帯同は現在1家族。7月に1家族がインドネシアへ渡航予定。

東部工業団地では、ワクチンについては数社が接種を済ませたとの情報である。またレバラン中からバイク等の盗難、侵入事案の発生が続いている。道路の渋滞も増えてきているのでご注意ください。

(企業からの報告)

現場警備員に感染が見られる。ワクチン接種については、各自治体やホテル・モールといった業界でのプログラムに参加して一部スタッフが接種を完了している。6月も徐々に接種を予定している。家族帯同は希望すればインドネシアに戻す方針。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムは申込を行い待機している状況。個人的に接種を済ませたスタッフが数名あり。新型コロナ感染に関しては5月に5名が新規感染したが軽症。2月以降5名程度が継続している。新規赴任は予定なし。6月末に1家族が新規渡航予定。

(企業からの報告)

感染状況については1月160名をピークに5月で40名、6月は60名となっている。日本人に感染者はいない。民間自主接種プログラムは登録申請したが動きはまだない。銀行業界がジャカルタの銀行職員を対象に無料でアストラゼネカ製ワクチン接種を実施している。ただ日本人は対象外とされている。

(企業からの報告)

先週、民間自主接種プログラムの第1陣として従業員1000名が接種を受けた。接種者には日本人駐在員33名を含む。新型コロナ感染はレバラン明けで増加の傾向。週5名程度が3倍程度に増加。駐在員の新規赴任については就労ビザの発給についても支障なし。

(企業からの報告)

3つのうち1つの事業所を対象に民間自主接種プログラムに登録済だが連絡がない状態。5月に日本人1名が新型コロナに感染したがすでに回復した。6月に2名が新規赴任。ビザ取得に問題はない。帯同家族は1家族だがすでにインドネシアに戻っている。

(企業からの報告)

従業員へのワクチン接種が始まっている。今週末2回目の接種を実施する予定。日本人の大半も接種を受ける。新規感染者は1週間で数名程度といったレベル。赴任・交代は順次進めている。家族帯同は個別判断で認める方針。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムではほとんどが未接種の状態。現地企業との合弁事業では、日本人も接種を受けたあるいは近々接種予定という話を聞いている。感染状況はレバラン後増えている印象。家族帯同の状況については、対象20家族

のうち6月末で7割程度がインドネシアに戻ってくる状況。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムには登録しているが連絡がない。レッドゾーンの自治体に住むスタッフが数名接種を終えている。感染者は6月4日時点で16名と5月時より半減していたがまた若干増えてくる可能性あり。新規赴任者の就労ビザはすべて取得完了。今まで家族帯同を認めていなかったが日本人学校対面授業再開を受けて対応を検討する。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムには登録して連絡を待っている状態。グループ内の地場銀行では接種が始まっている。出向日本人15名のうち半数が接種を済ませている状況。駐在員赴任には大きな動きはない。帯同家族も徐々に戻ってきている。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムには日本人を含めて登録しているが連絡がない状態。現地スタッフの中には別のルートで接種を受けている者あり。感染についてはレバラン前1か月ほど発症例なかったが、レバラン後に数名が感染している。帯同家族は7月以降に少しずつ戻ってくる見通し。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムは第1陣が5月20日に初回接種、6月10日に第2回目接種を予定。現地合弁会社にはパートナー側のアレンジで接種が可能になったケースがある。その場合邦人駐在員は自己判断で接種を受けさせる方針。感染状況はレバラン後インドネシア従業員に感染が発生しているが数件程度。家族帯同はレバラン後の感染拡大が無ければ帰還を認める。

(企業からの報告)

民間自主接種プログラムには会社として登録しているが今後日本人を含め個人での登録を行うステージである。新規感染者は出ていない。家族帯同が6月に1家族、8月に2家族がインドネシアに渡航予定。

(団体からの報告)

民間自主接種プログラムには登録していない。現在感染者はいない。今月中旬に新規赴任者1名が隔離期間を終えて着任する。家族を伴っての赴任。

(JICA)

先月報告した感染者は快復済み。それ以降関係者の新しい感染事例はなし。ワクチン接種は接種機会を模索中も確定した予定はまだない。関係者及びその家族の渡航については特に問題なし。

(JETRO)

先週日本人職員1名が感染し、現在入院中だが、軽症で容体は安定している。

(国際交流基金)

新規感染者はなし。ワクチン接種はインドネシア職員の一部は政府プログラムによって接種済。民間自主接種プログラムにも登録している。レバラン後の感染数増加のため先週渡航予定であった専門家の着任を延期した。

(チカラン日本人学校)

教員 16 名にワクチン接種を実施中。8 名はすでに接種、残り 8 名が 2 回目の接種を待っている状況。児童、生徒、教職員の感染はなし。5 月 3 日から通常登校を継続中。

(ジャカルタ日本人学校)

新規の感染者はゼロ。ワクチン接種に関しては、インドネシア人スタッフは全員が自治体の教育従事者向け接種を受けた（2 回目も済み）。日本人教員職員については、20 名が 1 回目接種済みで今週 2 回目接種予定。残りの 40 名についても近いうちに接種が行われる見通し。6 月 2 日から通常登校を開始した。

5. 質疑応答

(企業からの質問)

新型コロナウイルスに過去に感染した者へのワクチン接種はどう考えたらよいか。接種しても問題はないか。

(大使館医務官)

インドネシアで広く接種されている中国製ワクチンに関する情報は限られている。米国ファイザー社、モデルナ社製ワクチンは既感染者に接種が可能とされる。欧米では過去の感染の有無にかかわらず接種を行うべきとの方針であり、WHO も同様の見解。現在、インドネシアでは、ワクチン接種が進められているが、接種者の中には無症状だった既感染者も多いと思われる。これまでに深刻な副反応が報告されていないことから、既感染者に接種しても大きな問題はないと考えられる。

(企業からの質問)

夏以降、一時帰国者向けの接種を受けることができるとの説明があったが、夏以降赴任が予定されておりワクチンは未接種という場合、この一時帰国者向けの枠組でワクチンを接種することは可能か。

(大使館総括公使)

御質問のケースの取り扱いについては現時点で未確定だが、今後の検討により一時帰国者向けの枠組での接種が認められる可能性はあると思われる。

次回海安協は 2021 年 7 月 13 日（火）に開催予定。